

牛久高校アクティブ・ラーニング・フォーラムに参加

9月6日（火）午後、牛久中央生涯学習センター文化ホール（牛久市柏田町1606-1）で開催された「牛久高校アクティブ・ラーニング・フォーラム2016」に、早川先生（教務主任）と一緒に参加しました。フォーラムの出演者は、以下の3名でした。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ① 羽根拓也（はね たくや）氏 | 株式会社アクティブラーニング代表取締役社長 |
| ② 古新 舜（こにい しゅん）氏 | 映画監督・コミュニケーションデザイナー |
| ③ TATSUYA（たつや）氏 | ビートボックス・パフォーマー |

羽根拓也氏は、ハーバード大学で日本語講師として活躍し、帰国後の1997年に東京でアクティブラーニング社を設立した「日本のアクティブ・ラーニングの先駆者」です。新商品開発・新規事業構築・地方創生・教育等、様々な分野のコンサルタント、プロデュースを実施、近年は、日本だけでなく、アジア各都市で研修・セミナーを展開中です。

古新舜監督は、30以上の映画祭で受賞・入賞を果たしている若手映画監督で、現在、学生や社会人向けにコミュニケーション力を育む「シネマ・アクティブ・ラーニング」を全国で展開中。また、屋久島を舞台とした長編映画「あまのがわ」の制作準備中です。

TATSUYA氏は、ヒューマンビートボックスで4回連続日本一に輝いているビートボックス界のカリスマパフォーマーです。世界で活動する中、2010年に一般社団法人「日本ヒューマンビートボックス協会」を設立し代表理事を務めています。

羽根拓也氏プロデュースによる今日のALフォーラムは、もの凄かったです。3人共通のメッセージは、若い時に「自分のために一歩前に踏み出すこと」でした。「アクティブ・ラーニング」の「新たな可能性」を感じた一日でした。

牛久高校生は、本校生と同じように普段から「AL型授業」を受けていて「アクティブ・ラーナー」なので、マイクを向けられても、自分の考え・意見をはっきり話していました。イベント後、3人は「生徒がアクティブで素晴らしかった！」と言っていました。



◆今回の企画は、昨年度牛久高校の校長だった私が、知り合いの羽根氏と古新氏に依頼しておいたものでした。「蒔いた種」が、生徒たちや先生方の努力によって見事に花開いていました(^_^)。